

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

4-Ⅱ-5

4-Ⅱ-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	見学ルートの作成・発信
	節	Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	5 見学モデルルートの構築	事業主体		佐渡市世界遺産推進課
		関連団体		県文化行政課、佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	【事業目的】 ○ 資産内における適切な見学ルート(モデルコース)の構築により、来訪者への各構成資産の適切な理解を促す。			
	【事業内容】 ○ ①来訪者が理解しやすいストーリー作り ②ストーリーに合わせた見学ルートの整備 ③見学ルートに係る情報提供 を実施する。 また、運用開始後も来訪者ニーズに合わせて更新を検討する。			
事業計画と実績	【R2年度計画】 ● 史跡整備基本計画等に基づき設定したモデルコースにおいて、解説や誘導サイン等の設置を進める。 ● 見学ルートの環境整備(草刈り・樹木伐採等)を行う。			
	【R2年度実績】 ● R2年度は国補助金の減額査定により予算が確保できず、サイン等は設置できなかった。 ● 見学ルートの環境整備(草刈り・樹木伐採等)を行った。			
課題・今後の取組	【課題】 ■ 来訪者が理解しやすいストーリー作りについては、推薦書(正本)に即した内容、かつ、ニーズに合わせて更新する必要がある。 ■ 見学ルートの整備については、構成資産が広範囲に分布し、見学ルートも長いことから、計画的に整備する必要がある。 ■ 見学ルートをより多くの方に利用してもらうため、各種広報媒体を利用し情報を発信する必要がある。			
	【今後の取組】 ■ 史跡整備基本計画に基づき、見学ルート上への解説・誘導サインの設置を進める。 ■ 見学ルートが安全で分かりやすい状態に保たれるよう、草刈り・樹木伐採などの整備を定期的・計画的に行う。 ■ 見学モデルルートを使った現地学習会やガイド研修会を、毎年2回以上実施し、モデルルートの利用促進に向けた取組みを進める。			
事業評価	【事業の達成度】 [a・ b ・c]		◇ 見学モデルコースの内容を盛り込んだ史跡整備基本計画を策定したことにより、モデルコースの構築は完了している。概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られていることから、B評価とした。	
	【事業実施の効果】 [a・ b ・c]			
	【総合評価】 [A・ B ・C]			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。